

噴火のごとく打ち上げる 迫力の鬼花火

6/
1~

『鬼火が誘う地獄の谷』

6月1日(日)に開幕した『地獄の谷の鬼花火』(市・登別観光協会主催)に、国内外から多くの方が集まり、初日は約1千500人の観光客や市民で会場の地獄谷展望台が埋め尽くされました。

登場した湯鬼神たちが人々の無病息災・開運招福を願い、太鼓やドラの音に合わせて厄を集めながら舞い踊った後、夜空に向かって厄が詰まった手筒花火を打ち上げると、観客からは大きな歓声と拍手が沸き起こりました。

東京から友人と2人で旅行に来ていた女性は、『手筒花火を見たのは初めてで、その迫力に驚きました。浴衣姿で鬼花火を見ることができてとても新鮮な気持ちです』と楽しそうに話してくれました。『地獄の谷の鬼花火』は、8月8日(金)までの毎週木・金曜日の20時30分から、地獄谷遊歩道を照らす『鬼火の路、幻想と神秘の谷』は、11月30日(日)までの毎日、日没から21時30分まで開催しています。



おおきくなあれ!

『新入学児童記念植樹』

5/
19・21

5月19日(月)に登別小学校、21日(水)に幌別東小学校で、新入学児童記念植樹が行われました。児童たちは、初めての植樹に胸を躍らせながら、講師のいぶり花づくりネットワークの岩浅眞純さんの掛け声に続き、『おおきくなあれ! おおきくなあれ!』と言いながら、ヤマザクラやクロフネツツジの苗に丁寧に土をかぶせ、水をやりました。

卒業までの6年間、児童たちは自分が植えた木の世話をしながら、ともに大きく成長していきます。



▲焼き上がったせんべいに、温泉マーク(♨)の焼き印が付けられ、笑顔を見せる参加者

和の心に 触れる一日

第14回わんぱくサムライ体験

5/
24

5月24日(土)、郷土資料館で『第14回わんぱくサムライ体験』(市主催)が行われました。

黄緑色の花を咲かせる『御衣黄』などの桜が咲く中、参加者は流鏑馬やせんべい焼き、竹とんぼ作りなどを体験し、和の心に触れました。

会場には親子連れのほか、さまざまな年代の方が訪れ、和太鼓やよさこいソーランの発表に見入りました。また、昔の遊び体験で童心に帰る方の姿が見られました。



▲ヤマザクラの植樹(登別小学校)



▲クロフネツツジの植樹(幌別東小学校)



▲姫から啓発物品を手渡される運転手

レジャーシーズンも安全運転で

ジャンボ検問街頭啓発運動

6月3日(火)、富浦町の国道36号沿いで『ジャンボ検問街頭啓発運動』(市・登別市交通安全協会主催)が行われました。

照りつける日差しの下、約70人の参加者が『交通安全』のたすきを掛けて一列に並び、通行中の車を止めて安全運転を呼び掛けました。

登別伊達時代村から殿と姫も参加し、警察官や市職員などと一緒に、登別市老人クラブ連合会手作りのマスコットなどを配りました。

通り掛かった車の運転手は、大人数の行列に驚きつつも、笑顔で応えていました。

6/3



▲市職員と話し合う町内会の代表者(右)

生活に身近な課題の解決を目指して

地区課題(要望)ヒアリング

6月3日(火)から9日(月)まで、市役所で地区課題(要望)ヒアリングが行われ、事前に課題を提出した町内会の代表が、市職員に要望を伝えました。

今回ヒアリングに参加したのは、94町内会のうち40町内会。『道路や公園の補修・整備』、『横断歩道やカーブミラーの設置』など、生活に身近な課題119件について、各担当職員と話し合いました。

提出された課題や要望には、7月中旬に市の考え方や対応結果を回答する予定です。

6/3~9

火災に万全の備えを

富士保育所消防訓練

6月12日(木)、富士保育所で『消防訓練』(消防本部・消防団主催)が行われました。

保育室から火が出たという想定で、火災報知機が鳴り響く中、子どもたちは煙を吸わないよう口を手を当てて素早く避難。保育士が年少の幼児を避難させ、人数確認を行いました。

全員がホールに避難すると、消防団女性分団が紙芝居を使って「押さない」、「走らない」など避難する際の注意事項を楽しく説明。最後に子どもたちがばんぐんと一緒に避難時の動作を練習して、火災への備えをしました。

6/12



▲紙芝居に真剣に聞き入る子どもたち